

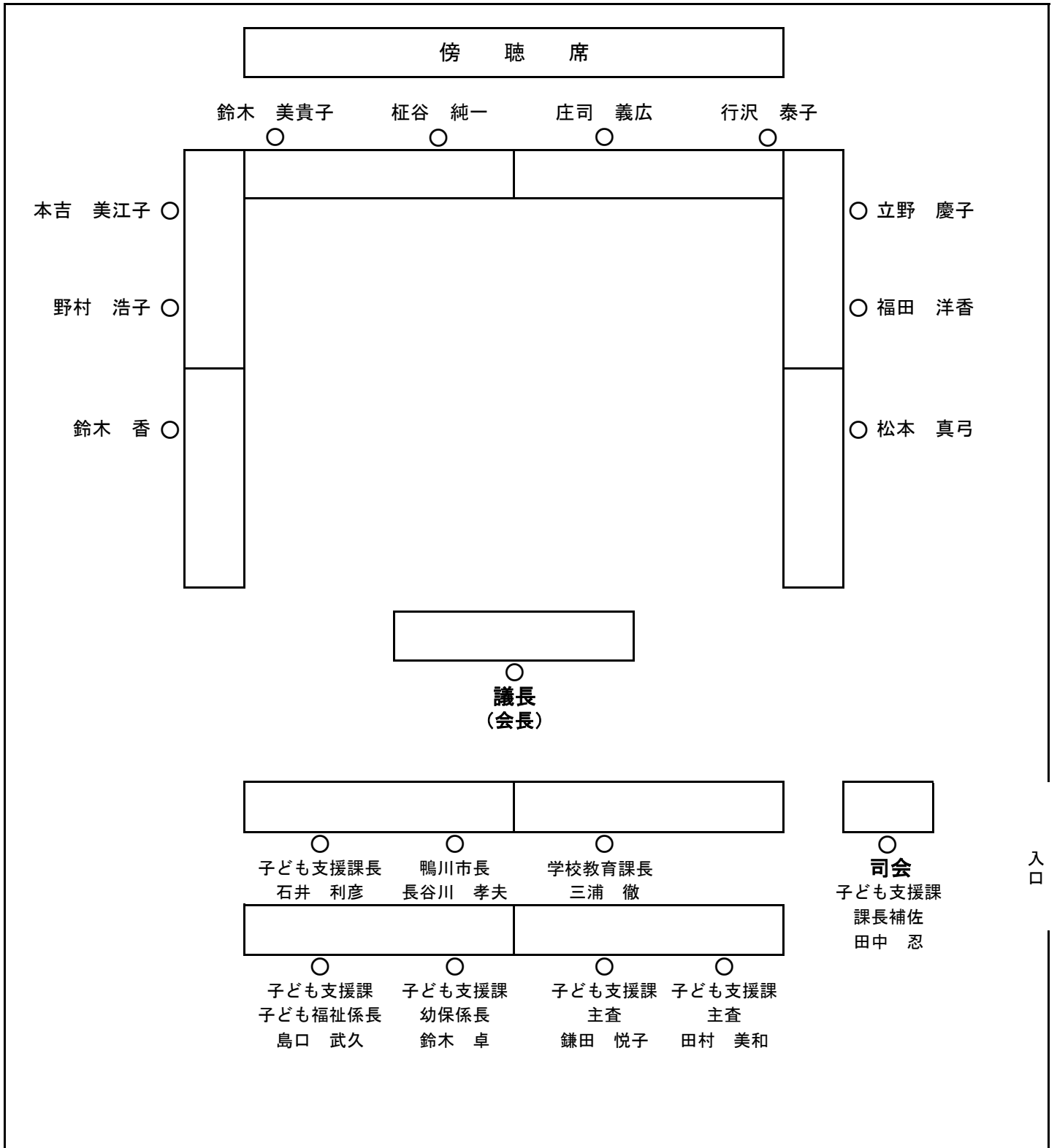
## 令和3年度 鴨川市子ども・子育て会議次第

日時：令和3年7月26日（月） 午後3時  
場所：鴨川市総合保健福祉会館 2階研修室

1. 委嘱状、任命書交付（委員10名）
2. 開 会
3. 挨拶
4. 会長、副会長選出
5. 議件
  - (1) 第2期鴨川市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況等について  
※計画記載事業から6事業を抜粋
  - (2) その他
6. その他
7. 閉 会

# 令和3年度 鴨川市子ども・子育て会議 座席表

会場 鴨川市総合保健福祉会館 2階研修室



出席者一覧

	26年度	28年度	備 考
市長	○	○	第1回
教育長	○	○	第1回
参事	—	○	毎回(子ども・子育て関連総合戦略)
次長	○	—	
学校教育課長	○	○	毎回
主任指導主事	○	○	毎回
課長補佐		○	毎回
幼稚園担当	○		
幼稚園担当	○		
健康推進課長	○	○	毎回
保健師	○	○	毎回
保健師	○		
福祉課長	○	○	毎回
課長補佐	○		
保育園担当	○		
子ども支援課長	—	○	毎回
課長補佐	—	○	毎回
幼保係長	—	○	毎回
子ども福祉係長	—	○	毎回

※26年度は計画策定があったため、学教及び健推の職員も多く出席していた。

※山口主査(健推)及び渡辺係長(福祉)は委員として出席

## 令和3年度 鴨川市子ども・子育て会議資料

### 令和2年度における各施策の実績等

基本施策2 学齢期の子どもを健やかに育む環境づくり

施策の柱2 子どもの居場所・体験機会の提供

施策の方向(1) 放課後児童健全育成事業(学童保育)の充実【P38】

#### ① 取組実績(概要)

市内の留守家庭児童に対して、安全で健やかな居場所づくりを提供するとともに、保護者における経済的負担の軽減を図るため、学童クラブを運営する6団体(7単位)に支援を行った。

・事業実施箇所数 6(7支援単位)、児童数※ 358人

地区名	学童クラブ名	運営団体名	児童数
鴨川	鴨川学童「ゆう・遊クラブ」	(社福)鴨川市社会福祉協議会	30
東条	学童クラブ OURS1/OURS2	(社福)太陽会	180
田原・西条	田原・西条学童クラブ	同左	52
長狭	長狭学童「ながさっこクラブ」	同左	25
江見	江見学童クラブ	(社福)鴨川市社会福祉協議会	33
天津小湊	天津小湊学童クラブ	(社福)鴨川市社会福祉協議会	38

※ 児童数は、年間利用登録児童数と長期休業期間利用登録児童数の合計

#### ② 事業に要した事業費(概算)

- ・放課後児童健全育成事業補助金 48,726千円(うち、国1/3、県1/3充当)
- ・空調設備設置工事(天津小湊学童クラブ)1,287千円

#### ③ 事業の課題等

令和3年度から、田原・西条学童クラブの運営が、(社福)鴨川市社会福祉協議会となり、父母の会等の保護者が直接運営に携わるのは1団体となった。

#### ④ 令和3年度以降の予定及び計画(見込)

特になし

令和2年度における各施策の実績等

基本施策3 困難を抱える子どもや家庭への支援

施策の柱2 児童虐待・DV等への対応

施策の方向(1) 児童虐待防止対策の推進【P44】

① 取組実績(概要)

児童虐待防止に向け、要保護児童対策地域協議会において関係機関との連携を図ったほか、乳児家庭等全戸訪問事業や家庭児童相談室の養育相談等を行った。

○乳児家庭全戸訪問事業(こんにちは赤ちゃん事業) 家庭訪問172件

○養育支援訪問事業 訪問件数:専門的支援176件、家事・育児支援10件

○家庭児童相談室

家庭相談員2人、相談件数132件、支援延べ2,754回、会議開催延べ328回

○要保護児童対策地域協議会

受理件数63件(うち、虐待37件)

実務者会議開催回数6回

※虐待認定件数34件(相談通告件数37件)

・通告経路別【こども園学校等15、近隣知人等3、家族親族等3、虐待者自身1、市町村職員3、警察6、病院1、その他5】

・類型別【身体的虐待8、保護の怠慢・拒否10、心理的虐待16、性的虐待0】

② 事業に要した事業費(概算)

○乳児家庭全戸訪問事業 24千円(うち、国1/3、県1/3充当)

○養育支援訪問事業 736千円(うち、国1/3、県1/3充当)

○家庭児童相談室運営事業 2,075千円(うち、国費520千円充当)

③ 事業の課題等

虐待対応件数が増加傾向にあるなか、相談等に丁寧な対応をする必要がある。

④ 令和3年度以降の予定及び計画(見込)

虐待防止啓発キャンペーンの実施。(令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止。令和3年度についても検討中。)

令和2年度における各施策の実績等

基本施策4 安心して子育てできる環境づくり

施策の柱3 多様な子育て家庭への経済的支援

施策の方向(2) ひとり親家庭等への支援【P49】

① 取組実績(概要)

母子・父子自立支援員による相談、ひとり親家庭等医療費等助成、児童扶養手当の支給及びひとり親世帯臨時特別給付金の支給等により支援を行った。

○母子家庭及び父子家庭等自立支援事業

母子・父子自立支援員による相談回数 延べ507回

母子家庭及び父子家庭自立支援教育訓練給付金支給人数 2人

母子家庭及び父子家庭高等職業訓練促進給付金支給人数 1人

○児童扶養手当費 受給者 197人 対象児童 306人 支給額 107,978千円

○児童福祉扶助事業(ひとり親家庭等医療費等助成) 支給件数 2,500件

○ひとり親世帯臨時特別給付金支給事業

(基本給付金) 403世帯 17,250千円 / (追加給付金) 104世帯 5,200千円

(再支給分) 403世帯 17,250千円

(応援給付金) 403世帯 4,030千円【市独自】 支給額合計 43,730千円

② 事業に要した事業費(概算)

○母子家庭及び父子家庭等自立支援事業 3,269千円(うち、国711千円充当)

○児童扶養手当給付費 107,978千円(うち、国1/3充当)

○児童福祉扶助事業(ひとり親家庭等医療費等助成) 8,168千円(うち、県3,573千円充当)

○ひとり親世帯臨時特別給付金支給事業 46,606千円(うち、国42,575千円充当)

③ 事業の課題等

経済的基盤が弱いと考えられるひとり親家庭に対し、新型コロナウイルス感染症の影響を受けるなか、適切な支援を行うために支援体制を整える必要がある。

④ 令和3年度以降の予定及び計画(見込)

低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親世帯分)を支給。

令和2年度における各施策の実績等

基本施策1 就学前の親子への支援

施策の柱2 教育・保育サービスの充実

施策の方向(3) 認定こども園での健康づくりの推進【P33】

① 取組実績(概要)

令和2年度から市内全ての教育・保育施設が「幼保連携型認定こども園」となり、新たな給食提供体制となった(認定こども園は原則自園調理となる)ことを受け、令和2年度から管理栄養士の正職員が採用されたため、各園で実施される『給食会議』や、月1回の『給食献立検討委員会』、さらには栄養士の給食巡回を実施し、各機会において食育に関する話し合いや情報交換が行われた。

また、子ども達の健康づくりについては、一般社団法人ウェルネススポーツ鴨川に在籍する鴨川市地域おこし協力隊の玉木氏の協力のもと、子ども達の体力向上や遊びながらの活動量の増加を目的に、令和3年度からの本格実施に向けて、令和2年度は各園1~2回の試行的な実施ではあったが有益な活動ができた。

② 事業に要した事業費(概算)

・基本的には職員が勤務時間中に対応し、一般社団法人ウェルネススポーツ鴨川においても市会計とは別になるため、当該事業に要した事業費は0円。

③ 事業の課題等

給食については、特に白米の残食量が多いとの声があることから、各こども園及び子ども支援課管理栄養士が継続した栄養管理及び食育が重要である。

また、子ども達の健康づくりについては、昨今、子ども達の体力低下が懸念されているものの、こども園では学校の体育の授業のようなカリキュラムが組めないことや保育教諭だけでは体力向上への取組に限りがあることから、外部の協力を得る必要がある。

④ 令和3年度以降の予定及び計画(見込)

一般社団法人ウェルネススポーツ鴨川との連携を継続するとともに、オルカ鴨川の地域貢献事業も導入していくことが決まった。

令和2年度における各施策の実績等

基本施策1 就学前の親子への支援

施策の柱2 教育・保育サービスの充実

施策の方向(4) 教育・保育施設の整備【P33】

① 取組実績(概要)

令和2年度から市内全ての教育・保育施設が「幼保連携型認定こども園」となり、公立は、江見認定こども園【一体型】、鴨川認定こども園【分離型】、田原認定こども園【分離型】、西条認定こども園【一体型】、長狭認定こども園【一体型】、天津小湊認定こども園【一体型】の6園となり、私立は認定こども園 OURS の1園となっている。

令和2年度当初、分離型であった天津小湊認定こども園の旧天津小湊保育園舎の遊戯室を4歳児及び5歳児の保育室とする改修工事を実施するとともに、各園ごとに、空調設備を中心に緊急性の高い工事や修繕を実施した。

② 事業に要した事業費(概算)

- ・認定こども園施設改修事業【天津小湊認定こども園改修工事】 23,100千円
- ・認定こども園維持管理費【長狭認定こども園及び西条認定こども園空調設備更新工事】 1,737千円
- ・認定こども園維持管理費【各園における各種修繕】 2,739千円

③ 事業の課題等

今後、保育教諭の採用が多数見込めず、加えて、市財政状況の厳しさによる修繕費等の抑制を鑑み、現状、分離型として運営している2園【鴨川・田原】を一体型施設に改修することが喫緊の課題ではあるが、小学校の統合と歩調を合わせる必要があることから、教育委員会と連携を図りながら進めていく必要がある。

④ 令和3年度以降の予定及び計画(見込)

上記課題に関して、状況に応じながら市執行部及び教育委員会と協議を重ねていく。



令和2年度における各施策の実績等

基本施策1 就学前の親子への支援

施策の柱3 身近な地域での子育て支援の充実

施策の方向(1) 子育て支援の拠点施設の充実【P35】

① 取組実績(概要)

市内4ヶ所【江見認定こども園・長狭認定こども園・天津小湊認定こども園・認定こども園 OURS】に開設されている『子育て支援室』において、令和2年度はコロナ禍ではあったが感染対策を取りながら、各支援室では就園前の親子等の交流、子育てに関する相談や情報提供等を行うとともに、可能な範囲でイベントも実施した。

※子育て支援室の利用者数(延べ数) 4,248人

※赤ちゃんデー延べ参加者数 305人

※はかってみよう延べ参加者数 158人

また、ファミリー・サポート・センター事業は、令和2年度、依頼会員(援助を受けたい方)23名、提供会員(援助を行いたい方)12名、両方会員1名の登録があり、援助活動の希望に対し、その都度マッチングを行い、子育ての援助につなげた。

② 事業に要した事業費(概算)

- ・地域子育て支援拠点事業 12,509千円(主な支出は職員人件費及び委託料)
- ・ファミリー・サポート・センター事業 78千円(保険料及び消耗品)

③ 事業の課題等

【地域子育て支援事業】

各支援室がそれぞれの立地条件をいかしながら運営しているが、各地域の子どもの数や各家庭の状況にもよるが、各支援室の利用人数にばらつきがある。(OURSや長狭の利用数に比べ、江見や天津小湊の利用数が少ない傾向にある)

【ファミリー・サポート・センター事業】

提供会員が少ないため、依頼があってもマッチングができない状況である。

④ 令和3年度以降の予定及び計画(見込)

上記課題の解決策を図りながら継続して事業を実施していく。



認定こども園 施設概要

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる 建物)	園児数 (人)	定員 (人)	備考
鴨川認定こども園 (分離型)	貝渚 3271-7	698.0	平成 2	W造	44	50	旧鴨川幼稚園
	横渚 510	1,060.0	昭和 46	R C造	38	55	旧鴨川保育園
西条認定こども園	八色 869	451.0	平成 19	S造	81	103	旧西条幼稚園
		393.0	平成 2	R C造			旧西条保育園
田原認定こども園 (分離型)	坂東 285	359.0	平成 5	W造	26	40	旧田原幼稚園
	太尾 369-1	396.3	昭和 57	R C造	24	39	旧田原保育園
長狭認定こども園	松尾寺 417	2,044.0	昭和 57	R C造	61	105	旧長狭幼稚園
							旧長狭保育園
江見認定こども園	宮 1455	995.3	平成 26	W造	69	99	-
天津小湊認定 こども園	天津 1208-1	1,325.9	昭和 57	R C造	65	105	旧天津幼稚園
			平成 25	W造			
合計		7,722.5			408	596	

※園児数・定員は令和3年7月1日現在のものを記載。